



Title	隠岐の島に旅して
Author(s)	永田, 美恵子
Citation	makoto. 1973, 4, p. 4-4
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/86266
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

1
 2
 3
 4
 5
 6
 7
 8
 9
 10
 11
 12
 13
 14
 15
 16
 17
 18
 19
 20
 21
 22
 23
 24
 25
 26
 27
 28
 29
 30
 31
 32
 33
 34
 35
 36
 37
 38
 39
 40
 41
 42
 43
 44
 45
 46
 47
 48
 49
 50
 51
 52
 53
 54
 55
 56
 57
 58
 59
 60
 61
 62
 63
 64
 65
 66
 67
 68
 69
 70
 71
 72
 73
 74
 75
 76
 77
 78
 79
 80
 81
 82
 83
 84
 85
 86
 87
 88
 89
 90
 91
 92
 93
 94
 95
 96
 97
 98
 99
 100
 101
 102
 103
 104
 105
 106
 107
 108
 109
 110
 111
 112
 113
 114
 115
 116
 117
 118
 119
 120
 121
 122
 123
 124
 125
 126
 127
 128
 129
 130
 131
 132
 133
 134
 135
 136
 137
 138
 139
 140
 141
 142
 143
 144
 145
 146
 147
 148
 149
 150
 151
 152
 153
 154
 155
 156
 157
 158
 159
 160
 161
 162
 163
 164
 165
 166
 167
 168
 169
 170
 171
 172
 173
 174
 175
 176
 177
 178
 179
 180
 181
 182
 183
 184
 185
 186
 187
 188
 189
 190
 191
 192
 193
 194
 195
 196
 197
 198
 199
 200
 201
 202
 203
 204
 205
 206
 207
 208
 209
 210
 211
 212
 213
 214
 215
 216
 217
 218
 219
 220
 221
 222
 223
 224
 225
 226
 227
 228
 229
 230
 231
 232
 233
 234
 235
 236
 237
 238
 239
 240
 241
 242
 243
 244
 245
 246
 247
 248
 249
 250
 251
 252
 253
 254
 255
 256
 257
 258
 259
 260
 261
 262
 263
 264
 265
 266
 267
 268
 269
 270
 271
 272
 273
 274
 275
 276
 277
 278
 279
 280
 281
 282
 283
 284
 285
 286
 287
 288
 289
 290
 291
 292
 293
 294
 295
 296
 297
 298
 299
 300
 301
 302
 303
 304
 305
 306
 307
 308
 309
 310
 311
 312
 313
 314
 315
 316
 317
 318
 319
 320
 321
 322
 323
 324
 325
 326
 327
 328
 329
 330
 331
 332
 333
 334
 335
 336
 337
 338
 339
 340
 341
 342
 343
 344
 345
 346
 347
 348
 349
 350
 351
 352
 353
 354
 355
 356
 357
 358
 359
 360
 361
 362
 363
 364
 365
 366
 367
 368
 369
 370
 371
 372
 373
 374
 375
 376
 377
 378
 379
 380
 381
 382
 383
 384
 385
 386
 387
 388
 389
 390
 391
 392
 393
 394
 395
 396
 397
 398
 399
 400
 401
 402
 403
 404
 405
 406
 407
 408
 409
 410
 411
 412
 413
 414
 415
 416
 417
 418
 419
 420
 421
 422
 423
 424
 425
 426
 427
 428
 429
 430
 431
 432
 433
 434
 435
 436
 437
 438
 439
 440
 441
 442
 443
 444
 445
 446
 447
 448
 449
 450
 451
 452
 453
 454
 455
 456
 457
 458
 459
 460
 461
 462
 463
 464
 465
 466
 467
 468
 469
 470
 471
 472
 473
 474
 475
 476
 477
 478
 479
 480
 481
 482
 483
 484
 485
 486
 487
 488
 489
 490
 491
 492
 493
 494
 495
 496
 497
 498
 499
 500
 501
 502
 503
 504
 505
 506
 507
 508
 509
 510
 511
 512
 513
 514
 515
 516
 517
 518
 519
 520
 521
 522
 523
 524
 525

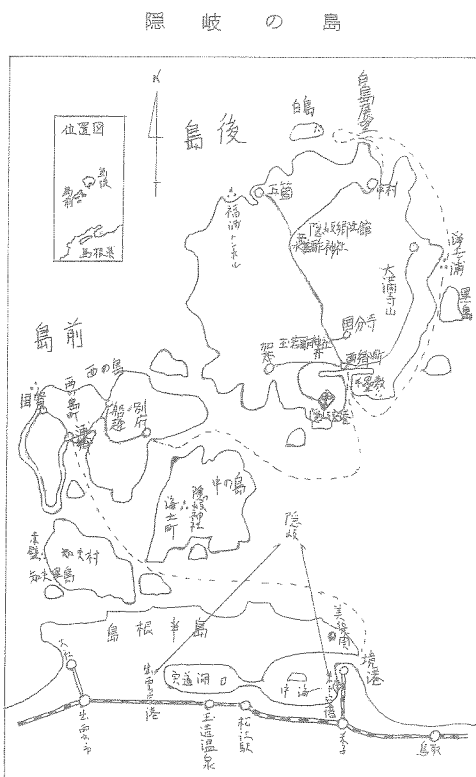
永田美恵子

隠岐は典型的な離島ですが古くから「隠岐の国」という一つ

一つで西郷町外三村に分れてい
ます。人口は全島合わせて約三
万六千、総面積は三八〇平方キ
ロで、琵琶湖とほぼ同じ位です。
現在では飛行機でも行けるし、

船も千トン級の客船やフェリーが本土ノ隠岐間を毎日春秋三往復、盛夏五往復しているそうです。

隠岐は地質学
上、日本では珍
らしい第三紀ア
ルカリ性の火山
岩類で構成され
おり、海岸は沈
水性リアス式海
岸であるため複



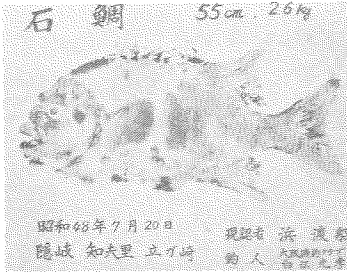
雑な線を描きだしています。

都会の騒音やストレスから逃れ、公害のない青い空、澄んだ水、純朴な人情味……自然を思う存分味わいました。二泊三日の旅のスケジュールを書きましたので、ご参考にしてください。

一日目、大阪空港8時55分発、途中米子で中継し10時45分隠岐空港着。送迎バスにて20分で西郷町に着く。ここを起点にバスと船の観光セットコースで島後観光に向う（西郷12時10分発）

バス 国分寺（流刑の後醍醐天皇の行在所） 水若酢神社（水

若酢命をまつる元国幣中社で隠岐一ノ宮）社殿は特殊な純隠岐造りの古社である。境内の根上りの松「明神の松」は樹令七百年といわれる老松で、無風状態の時に突然音もなく折れたとの事、現在天然記念物指定申請中）



バス 隠岐郷土館（建物は明治十八年隠岐四郡の町村連合会によ

って郡役所として建築されたもので、明治初期の洋風建築物としては、県下では唯一のものであり、隠岐の歴史、民俗資料が

ちん列してある。真白な建物で本土でもこの様な素朴な建物は珍らしいのではないかと思います。バス 中村港（船ののりかえ） 浄土ヶ浦（天下無双の奇岩） 西郷町帰着（16時15分）、民宿泊り、夜ボーリング

に行く（隠岐島ただ一つのボーリング場である）。

二日目、西郷町8時発（春洋丸） 西の島（島前）の別府9時50分着 国賀めぐりBコース：延えん七キロにわたり高さ百〇三メートルに及んで鬼ヶ城、摩天崖、通天橋、天上界等の断崖絶壁と奇岩や洞窟が連続しており、それが玄武岩でできているので一層の物すごさを

加え、感たと戦りつを与えている。これとは対症的に崖上は緑の台地で牛馬が遊び、平和で長閑な清景が一入国賀の美観を添える。国賀浜（12時20分）着、約2時間浜の美しさを愛でながら国賀浜発 浦郷（14時55分）

着。Bコースを終り、浦郷よりバスにて船越に行き（バスで13

分）民宿に泊る。夜宿の主人に

鳥賊（イカ）釣りに連れて行って頂く。初めての事ゆえ珍らしく、時の経つのも忘れる程でした。私の収獲はなんと三バイ（三匹）、それでも皆よりも一

番大きなのを二ハイも釣りあげ気をよくしました。釣りたてのイカを宿で料理してもらいその美味しかったこと……これこそ旅の良さだとつくづく思いました。

三日目、船越より浦郷に出で、11時10分発 境港14時10分着、米子まで普通列車で行き、米子より特急（19時29分発）で新大

阪（21時9分着）に帰着。

なおスケジュールの都合で玉若酢神社を割愛しましたが、玉若酢神社は西郷町から車で15分の所で、隠岐の国の駅鈴があります。駅鈴というのは非常のとき、駅路に配置している人馬を

素早く召集するために鳴らした伝令の鈴です。大化二年の改新のときに制定された制度で、当時三十数個の駅鈴を作って諸国の要衝の宿場や関所に分けられたが、現在残っているのは、この二個だけのことです。参考までに附記しました。

以上が私のスケジュールです。皆様のお役にたてば幸いです。

府政だより

大阪府衛生部では次の行事を行ないます。

○ねずみ駆除月間
期間 十月中

○インフルエンザ予防特別対策
期間 十月～十二月

○狂犬病予防月間
期間 十月中

飼い犬の注射、登録の徹底をはかる。

○食生活改善普及運動月間
期間 十月中

各個人に応じた栄養摂取についての知識の啓蒙と健康の保持増進をはかる。

○目の愛護週間
期間 十月十日～十六日

日頃酷使しがちな眼の衛生に関する知識の啓蒙をはかる。

○薬と健康の週間
期間 十月十四日～二十日

薬のもつ特質、その使用、取扱いについての正しい認識を広める。

○麻薬、覚せい剤摘撲減運動
期間 十月中

麻薬と覚せい剤の恐ろしさを啓発宣伝する。

図形パズル二題



(一) 十五枚の10円玉が、長方形に並んでいる。このうち三枚を移動させて「三角形」にしてください。これは簡単です。そこで最初の長方形から二枚移動させるだけで「円」にする方法を考えてください。



(二) テーブルの上に10円玉がある。直上から見たら三十円あり、横から見たら四十円、また別の方向の横から見たら五十円あるように見えた。そして実際に数えてみたら六十円あったという。六枚の10円玉は、どのように並んでいたのでしょうか。（タイズの雑学博士より）

ハ喜多V